

# CAMP における AI 利用と情報保護の対応状況

介護報酬・経営分析システム／LIFE 活用・予測ケア支援システム

---

## 1. 基本的な考え方

---

CAMP は、経営分析および科学的介護（LIFE）の活用支援において、生成 AI を分析支援の道具として用いている。AI の位置づけは次の三点に整理される。

- ・ AI は判断を代行するものではなく、経営者・管理者の判断を支援する道具である
- ・ 最終的な経営判断および運営責任は、経営者・管理者に帰属する
- ・ 実地指導対応および介護報酬請求そのものに AI を直接使用する設計は採用していない

この考え方にに基づき、AI へ送信する情報の範囲を機能ごとに限定している。以下、経営分析システムと LIFE 活用システムのそれぞれについて、実装上の対応を示す。

## 2. CAMP 経営分析システム

---

### 2-1. 送信していない情報

利用者個人に関する情報は、AI へ一切送信していない。

具体的には、以下の情報が AI への送信対象から除外されている。

- ・ 被保険者番号
- ・ 氏名
- ・ 生年月日
- ・ 性別
- ・ 要介護状態区分
- ・ 個々の利用者のサービス利用実績

国保連から取り込んだ請求データには、これらの情報が含まれる。しかし AI へ渡すのは、そこから算出された集計値のみである。個々の利用者を特定しうる情報は、システム内部に留まり、外部へ出ることがない。

### 2-2. 送信している情報

AI による経営コメントの生成に際して送信するのは、次の情報である。

- ・ 事業所名およびサービス種類
- ・ 利用者数、稼働率、請求額等の集計値
- ・ 加算の算定状況
- ・ 前月・前年同月との比較値

これらは事業所単位に集計された経営指標であり、個人を識別する情報を含まない。

### 2-3. 留意事項

法人内に複数の事業所がある場合、事業所間の比較表を生成する機能において、法人内の他事業所名と集計値が併せて送信される。いずれも法人内の情報であり、他法人の情報が混在することはない。

## 3. CAMP LIFE 活用システム

---

LIFE 活用システムは、利用者個々の ADL・栄養状態・口腔機能・認知症の状況等を扱う。これらは個人情報保護法にいう要配慮個人情報を含みうるため、経営分析システムより踏み込んだ措置を講じている。

### 3-1. 個人識別情報の除外

AI への入力を組み立てる処理において、個人識別情報を含めないことを設計上の原則として明記している。除外対象は次のとおりである。

- ・ 氏名（姓・名・かな表記を含む）
- ・ 住所
- ・ 電話番号
- ・ 家族の氏名および連絡先
- ・ 被保険者番号
- ・ 生年月日

これらの項目は、AI へ送信するデータを組み立てる段階で機械的に除去される。担当者の運用や注意に依存する仕組みではなく、システムが自動的に除去する実装としている。

### 3-2. AI への出力抑止指示

入力側での除外に加えて、AI に対しても「利用者の氏名・被保険者番号その他の個人識別情報を出力に含めない」旨を指示している。入力段階と出力段階の二重で、個人識別情報の混入を防ぐ構造である。

### 3-3. 送信している情報

AI が分析を行うために送信するのは、次の情報である。

- ・ LIFE 評価項目の名称と評価値（例：食事、移乗、口腔清潔等）
- ・ 評価値の推移（改善・維持・低下の別）
- ・ 事業所単位の傾向

利用者は、氏名ではなく内部管理用の識別子によって区別される。送信データから個人を特定す

ることはできない。

### 3-4. 監査証跡

AI による生成の履歴は、監査証跡として保存している。この履歴に保存される入力データについても、個人識別情報を除去した状態で記録する設計としている。

## 4. 共通の対応

---

### 4-1. 通信の保護

AI サービスとの通信は、すべて暗号化された経路（HTTPS）で行っている。

### 4-2. 取込原本の保護

国保連から取り込んだ CSV の原本は、暗号化したうえでサーバ内に保管している。保管場所は Web から直接アクセスできない領域とし、保存期間経過後に削除される。この原本が AI へ送信されることはない。

### 4-3. 委託先におけるデータの取扱い

AI 機能の提供にあたり、外部の AI 事業者のサービスを利用している。同事業者との契約においては、API 経由で送信されたデータを AI モデルの学習に利用しない取扱いとなっている。

## 5. まとめ

---

| 項目          | 経営分析システム | LIFE 活用システム  |
|-------------|----------|--------------|
| 利用者の氏名      | 送信しない    | 送信しない（自動除去）  |
| 被保険者番号      | 送信しない    | 送信しない（自動除去）  |
| 生年月日・住所・連絡先 | 送信しない    | 送信しない（自動除去）  |
| 要介護度・心身の状況  | 送信しない    | 評価値のみ（個人非特定） |
| 事業所名        | 送信する     | 送信する         |
| 集計値・評価値     | 送信する     | 送信する         |
| 通信の暗号化      | あり       | あり           |
| AI 学習への利用   | なし       | なし           |

両システムとも、利用者個人を特定しうる情報を AI へ送信しない設計としている。

AI へ送信するのは、事業所単位に集計された経営指標、および個人と結び付かない評価値である。これは運用上の取り決めではなく、システムの実装として担保されている。

